

PRESS RELEASE

2011年4月13日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「SMFv2」の管理機能を提供する OEM 専用基盤「SACM」を提供開始

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一 コード番号:3774 東証第一部)は、IIJ が独自開発した次世代のネットワークマネジメント「SMFv2^{(*)1}」の自動接続、完全管理の仕組みを OEM 提供するためのマネジメントサービス基盤「SACM (Service Adaptor Control Manager) (エスエーシーエム)」を新たに開発し、本日より提供開始します。

SMFv2 とは「SMF^{(*)2}」の発展技術で、IIJ 独自開発のルータ「SEIL(ザイル)シリーズ」だけでなく、他社のネットワーク機器に対しても、初期設定から設定変更、運用管理までを一元的に管理できる技術です。

IIJ ではすでに、SMFv2 の完全管理機能を活用したマネジメントシステムを構築できる開発キットとして「SMF SDK(エスディーケー)」を提供しています。お客様は SMF SDK を利用してシステムを開発し、無料で配布される組み込みモジュール「Libarms(リブアームズ)」を管理対象機器に組み込むことで、お客様独自のマネジメント基盤を容易に構築することができます。しかし今回、OEM 専用のマネジメントサービスとして SACM を提供開始することで、お客様は独自の管理システム開発が不要となり、お客様がご要望の機器に Libarms を組み込むだけで、より短期間で安価に、対象機器に対する管理を実現できます。

SACM では、設定管理などのすべての機能を専用の Web 画面を通して一元的に管理できるため、お客様は SaaS アプリケーションのように手軽に機器の管理を行うことが可能です。Web 画面は Ajax などの最新 Web 技術を採用しており、動的な表示ができるほか、高速表示が可能なため、ストレスのない機器管理を実現します。また、Web 画面のカスタマイズなどにも柔軟に対応することができます。

さらに SACM は、中小法人向けサービス「LaIT(ライト)」の基盤と連携が可能なため、請求やサポートなどのバックオフィス機能をあわせて OEM 提供できるほか、今後は Web-API で他システムとの連携も実現する予定です。

なお本発表にあわせて、日商エレクトロニクス株式会社(日商エレ)が5月初旬に Libarms が組み込まれたジュニパー製品をリリース予定です。これにより SRX210 や SRX240 などの UTM 製品において、SACM で完全管理を実現することが可能となります。今まで IIJ では、SMF や SMFv2 に対応したサービスアダプタ(機器)として、SEIL シリーズを販売、提供してきました。今後は主にサービス事業者などに対して、日商エレ提供の UTM 機器と SACM をあわせて積極的に販売していきます。

本発表に際し、日商エレ様より以下の通りコメントをいただいております。

この度、IIJ が SMFv2 を OEM 提供するための基盤「SACM」の開発を終え、販売開始を迎えられた事を心よりお慶び申し上げます。そして私どもがこのような貴重な機会に携わらせていただいたことを心より感謝します。IIJ の取り組みは、ネットワークマネージメントの新しい流れをつくり、IIJ はもとより、我々のようなインテグレーターやメーカーにとっても、新たなビジネス機会が広がるものです。日商エレクトロニクスは、今回の Juniper SRX シリーズへの Libarms 実装並びに、販売促進活動を通じて、SACM の付加価値をさらに高めていけると確信しております。

日商エレクトロニクス株式会社
取締役 常務執行役員
サービスプロバイダ事業本部長
牧野 孔治

IIJ では今後も、IIJ の独自技術である SMF が様々なネットワーク環境で利用されるよう、尽力してまいります。

(*1) SMF の発展技術で、2010 年 2 月に日米で特許取得(日本:特許第 4463868 号、米国:特許 7660266 号)。SMF が IIJ 独自開発のルータ「SEIL」の初期設定から設定変更、運用管理までを一元的に管理する技術であるのに対し、SMFv2 では他社のネットワーク機器が集中管理できるなど、より幅広い環境で活用することが可能。

(*2) IIJ が独自開発したネットワークサービス・オペレーティングシステム。2006 年 3 月に特許を取得(特許第 3774433 号)。

■ SACM 設定管理画面

The screenshot displays the SA Control Manager (SACM) web interface. The top navigation bar includes 'ホーム', 'フォルダ', 'コンフィグ', 'オペレーション', 'タスク', 'イベント', '監視', and '管理'. The 'コンフィグ' section is active, showing a 'コンフィグ参照' window for a specific SA. The window displays the SA name (SRX210 グローバル), SA code (ts990002212), and configuration type (動作コンフィグ). Below this, there's a 'モジュールの' section and a 'コンフィグ' section with a JSON-like configuration snippet. The 'オペレーション' section shows a table of selected SAs for operation, with columns for '選択', 'SA名', 'SAコード', '接続状態', and 'タスク登録履歴'. Below the table, there are options for the type of operation (PING, TRACEROUTE, etc.), a target IP address, and a calendar for scheduling the operation. The current date is 2011/03/22.

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 富永、竹田

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>